

JPDA 5月定例理事会議事録

日 時：令和2年5月29日（金）午後2時～午後5時30分

場 所：Zoomによるオンライン会議

出席者：理事24名中22名

（伊藤 透、井上 聡、青木（入江）あずさ、牛島志津子、畝野裕司、梅原 真、
江藤正典、小川裕子、小川 亮、加藤(桑) 和美、加藤芳夫、小原 司、鈴木智晴、
高田知之、竹内清高、中越 出、永田麻美、藤田 隆、三原美奈子、森 孝幹、
八木勇達、山崎 茂）

監事2名中1名（時田秀久）

欠席届3名（池田 毅、中森恭平、信藤洋二）

議事録署名人： 伊藤 透、井上 聡
時田秀久

議事の経過

定款第31条(議長)により伊藤理事長を議長に選出し、議長は直ちに本日理事会出席者22名を確認、定款第32条(決議)による出席者が過半数に達していることを確認し、定款第34条により議事録署名人が伊藤 透理事長、井上 聡副理事長、時田秀久監事の3氏であることを確認し、議事に入る。

※ゴシックは承認事項

第1号議案 退会承認の件

本日の理事会までに退会届けを提出した下記の法人会員1社、個人会員3人の退会を承認した。

(1) 法人会員（1社）

<東日本>

1. 株式会社オーディオテクニカ【令和2年4月末退会希望】
(積極的な活用ができなかったため)

(2) 個人会員（3人）

<東日本>

1. 浅倉 正（あさくら ただし）【令和2年3月末退会希望】
(サントリーコミュニケーションズ(株)退社のため)

2. 酒井 裕之（さかい ひろゆき）【令和2年3月末退会希望】
（事務所と本人の希望により）
3. 新井 猛（あらい たけし）【令和2年4月末退会希望】
（法人解散のため）

第2号議案 休会承認の件

本日の理事会までに休会届けを提出した下記の個人会員1人の休会を承認した。

（1）個人会員（1名）

<東日本>

1. 村木 貴久子（むらき きくこ）【令和2年6月～令和3年5月末の間】
（産休・育休期間のため）

第3号議案 協会名義使用承認の件

本日の理事会までに下記1件の協会名義使用の依頼がありこれを承認した。

（1）後援名義使用の依頼（1件）

1. 第22回「福岡デザインアワード」

（主催：福岡県産業デザイン協議会）

【令和2年11月10日(火) JR九州ホール（JR博多シティ9階）】

第4号議案 正副理事長報告

伊藤理事長、井上副理事長、加藤専務理事より、現状の活動状況について以下の報告があった。

- | | |
|----------|---|
| 伊藤理事長報告 | ・ 4/23 退会者対策 & APD開催についての打合せ（オンライン）
・ 4/24 コンペ委員会、東日本委員会（どちらもオンライン）
・ 4/27 新型コロナ対策に関する情報交換会（オンライン）
・ 5/29 JPDA定例理事会（オンライン） |
| 井上副理事長報告 | ・ 4/23 退会者対策 & APD開催についての打合せ（オンライン）
・ 4/27 新型コロナ対策に関する情報交換会（オンライン）
・ 5/15 西日本委員会（オンライン）
・ 5/29 JPDA定例理事会（オンライン） |
| 加藤専務理事報告 | ・ 4/23 退会者対策 & APD開催についての打合せ（オンライン）
・ 5/29 JPDA定例理事会（オンライン）
・ 6/ 2 JPDAパッケージデザイン学校打合せの予定（オンライン） |

第5号議案 第39回通常総会招集の決定 承認の件

渡邊事務局長より、資料に基づき、新型コロナウイルス感染拡大に対する非常事態宣言延長の政府発表を鑑み、5月29日開催を延期した第39回通常総会を、以下の日程であらためて招集したいとの報告があり、提案通り承認された。

但し、コロナ禍が完全収束に至っていないことから、総会終了後のJPDAパッケージデザイン功績賞の顕彰式、受賞者による記念講演は延期、講演会終了後の交流会は中止する。

日時：令和2年6月30日（火） 午後2時～午後4時

場所：東京ガーデンパレス 2階 「高千穂（A）」

東京都文京区湯島1-7-5 TEL：03-3813-6211

第6号議案 新型コロナウイルスの感染拡大に対する非常事態宣言発令に伴う、

令和2年度の事業計画の変更と補正予算(案)についての報告

渡邊事務局長より、資料に基づき、新型コロナウイルスの感染拡大とそれに伴う緊急事態宣言の発令により、当初（2020年3月）の令和2年度の計画を変更せざるを得なくなった事業についての報告があった。

<計画変更を余儀なくされた事業>

(1) 収益事業

① アジア学生パッケージデザイン交流プロジェクトの受託事業（アスパック）

⇒2020年12月日本でのアスパックウィークを含め全ての事業を中止

(2) 公益事業

① パッケージデザインの学校⇒2020年6～7月開校が2021年秋に延期

② 創作展「みらいパッケージ展」⇒2020年9月東京、11月奈良開催が1年延期

③ アジアパッケージデザイン会議+JPDAデザイン会議

⇒2020年11月奈良での開催が2021年11月に1年延期

④ 企画展「日本のパッケージデザイン縄文と弥生のデザイン遺伝子複雑とシンプル」

⇒2020年8月～10月凸版印刷(株)印刷博物館での開催が1年延期

⑤ 広報誌『JPDA MAGAZINE 60周年特集号』⇒2021年2月発刊が2021年度に延期

(以上はJPDA60周年記念事業)

⑥ 海外デザイン視察準備

⑦ アスパック（JPDA顕彰）

<60周年事業積立金取崩額の変更>

上記①～⑤の変更により、当初計画していた1,800万円の取崩額が325万円に縮小。残額は2021年度に繰り越す。

<通常総会での報告>

令和2年度事業計画(案)及び正味財産増減予算(案)については当初案を提案するが、

その後の変更について上記の(1)・(2)を報告する予定。

第7号議案 事務局報告

渡邊事務局長、南谷事務局員より、資料に基づき以下の報告があった。

(1) 6月30日(火) (通常総会・臨時理事会) のスケジュールについて

会場	部屋予約時間(仮)	催し	催し開催時間
2階 高千穂(A)	13:15～16:15	第39回通常総会 (受付:13:30～)	14:00～16:00
2階 高千穂(B)	16:00～18:00	臨時理事会	16:30～18:00

※第39回通常総会、定例理事会の進行手順、及び会場レイアウトについては、新型コロナウイルス感染拡大の状況を見て判断することのこと。

(2) 令和2年6月1日現在の会員数 (通常総会成立のための議決権数) について

6月1日現在の議決権を持つ総会員数は754(賛助会員・国外会員・休会員は除く)。
通常総会成立のための議決権数は過半数の378となる。

(3) 「コロナ対策に関する情報交換会」開催の結果報告について

4月27日の「コロナ対策に関する情報交換会」(参加費は無料)は、中小機構 近畿本部の藤間輝雄氏を講師に招き、35名の会員の参加を得てオンラインで開催された。第1部の藤間氏の講演では「コロナ禍に対する助成金や融資にはどのようなものがあり、どのように申請すればよいか」について、藤間氏作成の資料に基づき、質疑応答を交えながら情報を共有した。

(第1部の動画、終了後アンケートはJPDAサイトの会員ページに掲載)

また、第2部では少人数の4グループに分かれて会員間の情報交換を行った。JPDAでは初めての試みでもあり、いつもはセミナーや交流会に出席できない地方(北海道、種子島)の会員の参加もあって、終了後のアンケートでも大変好評だった。今回実現するにあたり、中心となっていた小川(亮)理事から「このような情報交換会は会員に対するサービスという意味でも、スピーディーにどしどしやるべきだと思う。今後はそのような体制にしていくべきではないか。」という補足があった。

伊藤理事長からは第2回を早急に検討しようという発言があった。

(4) 東京都への助成金申請について

今回の緊急事態宣言による在宅勤務を、今後よりスムーズに、より効果的なものにするために、公益財団法人東京しごと財団の「事業継続緊急対策(テレワーク)助成金」窓口に対し、PCやスマホの購入費用等、計542,000円を事務局より申請した。審査が通れば、6～7月に支給決定通知が届く予定とのこと。

(5) 事務局テレワーク規定の検討について

JPDAでは今回が初めての在宅勤務であり、まだ就業規定には具体的に盛り込まれていないため、至急にテレワーク規定を整備したい。上記助成金の実績報告(8月末まで)にもこの規定の写しを添付する必要があるため、遅くとも7月の定例理事会に提

案し承認を得たいとのこと。

(6) 令和2年度「事業カレンダー及び委員会名簿」について

これまでは5月末の通常総会議事録に同封して会員に届けていたが、総会が6月に延期されるため、会員への送付は7月中旬になる予定。

(7) 今後の理事会、総会のスケジュールについて

下記の日程を予定しているが、コロナ関連の状況変化によっては変わる可能性あり。

6/30 (火)	通常総会 臨時理事会	(仮)東京ガーデンパレス (文京区湯島) 高千穂(A) " 高千穂(B)
7/8 (水)	定例理事会	未定 (シビックセンター予約ができないため)
9/9 (水)	"	" (シビックセンターの予約は2ヶ月前から)
11/11 (水)	"	" (")
2021年1/下旬	定例理事会	日時と場所は未定 ※新年交流会の日程に合わせるため
3/10 (水)	定例理事会	未定 (シビックセンターの予約は2ヶ月前から)
4/中旬 (水)	臨時理事会	" ※決算監査の日程決定後に理事会の日にちが決定

第8号議案 委員会報告

<報告事項> (●は資料あり)

(60周年記念事業)

●APD+JPDAデザイン会議 in NARA

井上副理事長より、資料に基づき、2020年11月13日(金)に、奈良での開催を予定していたアジアパッケージデザイン会議(APD)を、「国内外とも今年の11月に状況がどのようになっているかが見通せないため、2021年11月19日(金)(仮日程)に延期する」という報告があった。

- ・海外の各協会には延期のお知らせを案内したが、異議を申し出られた団体はない。
- ・これに伴い、同時開催を予定していたJPDAデザイン会議も2021年同時期に延期。
- ・創作展「みらいパッケージ展」との関連付けは未定。
- ・いままで進めてきた制作物関係は一旦ストップ。
- ・講演者(ウスビ・サコ氏、佐藤卓氏)へは理事会終了後キャンセルを連絡し、あらためて2021年のご都合を聞く予定。
- ・但し、今回の会議のテーマ”Think Design Future”はそのまま継続とする。

●出版(INDEX)

山崎理事より、以下の2点についての報告があった。

- ① すでに発刊された『Package Design Index “Our Best Works”』については、全会員に対し、案内チラシ、JPDA会員向け限定注文書をメルマガで案内するとともに、掲載者全員に見本として1冊を送っている。

その巻中に、会員や外部のパッケージ関係の方だけではなく、広範囲の方々から貴重な寄稿文をいただいているので、是非目を通していただきたい。

- ② 毎年印刷博物館で開催される「現代日本のパッケージ展」は今年も開催される予定だが、今年はJPDA大賞の入賞作品を展示する年ではないので、JPDAとしては今回のインデックスから作品をセレクトして展示する予定である。

●JPDA大賞コンペ

小原理事より、資料に基づき「日本パッケージデザイン大賞2021」の進捗状況について以下の報告があった。

- ・現在、作品の応募が終了し、一次審査に向け準備を進めているところである。
今回はコロナ禍の中でもあり、応募締切を延長したが、最終の応募数は829点と前回は大きく下回った。(前回は1,201点)
これまでは応募総数の約1/3(400点)を入選としていたが、今回も同様の1/3では翌年出版する『年鑑』のボリュームが少なくなってしまうこともあり、約1/2を入選作品とし、総数で前回並となるようにしていきたい。
- ・一次審査はすでにご案内のとおり映像審査となるが、6/8(月)～6/15(月)の8日間とし、6/1(月)に一次審査員全員に対して「一次審査の概要」、「審査投票システムの操作方法」についてメールで共有する予定。
- ・二次審査は今のところ8/27(木)に会場審査を予定しているが、状況の変化によっては最悪リモート審査になることも検討している。

○企画展

加藤専務理事より、口頭で、2020年8月から印刷博物館での開催を予定していた企画展「日本のパッケージデザイン 縄文と弥生のデザイン遺伝子 複雑とシンプル」は、共催となっている凸版印刷(株)印刷博物館からも連絡があり、2021年8月に1年延期することが決定されたとの報告があった。

(委員会報告)

●教育

永田理事より、資料に基づき、現在教育委員会で年内の開催を検討しているオンラインでの教育セミナーについて報告があった。

5月に大阪芸大でも250名参加の新入生ガイダンスがオンライン行われたが、何の問題もなく終了しており、Zoomの場合1,000人までの大きなイベントの開催が可能であること、また、遠距離の方も違和感なく参加できることから、オンラインでの教育セミナーを考えていきたい。勿論、JPDAとJAGDAの2回目のセミナーがやりやすいと思うが、まだ検討中である。例えば、海外の方、あるいは地方の方を入れたワークショップが面白いのではないかという案もある。ただ、参加費の設定は大きな課題と考えている。

他の委員会・理事の方からも何かアイデアがあれば一緒に考えていきたいと思っている。

<出席者からの意見（敬称略）>

(加藤) 今後は大学の授業、講演等もこのようなオンライン形式が増えてくるのは間違いないが、結局は何をやるのか、誰がやるのがポイントになる。私見だが、ワークショップなど、双方向のものは一番レベルが高いイベントになると思う。

(三原) 今、西日本でもオンラインでの勉強会を検討しているが、オンラインでは西日本・東日本のどちらからでも参加できる。今後の企画内容の重複を避ける意味でも理事会だけではなく、それぞれの委員会の間で情報交換していく必要があると思う。

(井上) 後の議題になるが、何度もお話ししているように、2021年から大きく3つの委員会に分けて、それぞれの中で検討していくようにしていきたい。

2020年度はいままでの委員会でそれぞれのイベントを検討していくことになっているが、例えば新しい「まなび交流委員会」は現在の東・中・西日本委員会、国内・国際交流委員会、教育委員会で構成されるので、その中で今皆さんが議論していることについて情報交換を行い、それを理事会に落としていけるような話し合いの場を早急に設けることが必要ではないだろうか。

新しい委員会活動については理事会では共有化されているが、まだ全会員に公表しているわけではない。しかし、明日が見えない状況の中、このままでは時間だけが経ってしまう懸念があり、とりあえず合同委員会ということで進めてほしいと思う。

(伊藤) 是非そうしてほしい。国内交流委員会は今日開催されると聞いているし、東日本も近々開かれる予定である。それぞれの委員会のアイデアのすりあわせをする場として、6月30日の総会前に井上さんの言う新しい委員会での検討の場をもつようお願いしたい。その打合せの陣頭指揮は理事長・副理事長がしていくつもりである。

(時田) 先ほど事務局長から2020年度の収支が厳しくなるという説明があったように、不要・不急な事業ではなく、今何が協会にとって一番大事なのかを考えてもよいのではないか。

(伊藤) これからオンラインでのセミナーが増えると思われるので、参加費の基準を決めておく必要がある。理事間ですりあわせてほしい。

(渡邊) Zoomの費用は月額2,000程度なので、講師次第で決まるのではないか。

(加藤) Zoomは手頃な価格にするしかないと思う。リアルな講演・セミナーの方がやはり高額になる。

●インターネット

中越理事より、資料に基づき以下の報告があった。

・2020/3/6/～2020/5/25のサイト更新状況について

① 経産省からの周知依頼「デザイン業の資金繰り支援措置について」は全て対応済

- ② 4/27の情報交換会の講演・応答の動画と参加者のアンケート結果を5/1にアップ
・現在進めているサイトリニューアルは6/15(月)にオープン予定。
- ① リニューアルサイトでは、スマホ対応を考慮したものになっているので、イベント告知案内画像サイズを3種お送りいただくようお願いしたい・
- ② 現在進めている60周年事業のうち、「デザイン学校」、「創作展」、「JPDA大賞」についてはすでにサイトで事業の延期や募集締切の延長をアナウンスしているが、それ以外の事業でも公開できる情報があれば6/15前に連絡いただきたい。

●デザイン保護

高田理事より、資料に基づき、「知財塾 第3回」開催についての報告があった。

知財塾は全3回開催ということですのですでに参加費(10,000円/3回)はいただいている。

最後となる第3回は4/7の開催を予定していたが、コロナ禍のため開催を延期し、オンライン(Zoom)で6/23(火)、あるいは6/30(火)となる予定。

※6/30を第1候補で進めているとの報告に対し、渡邊事務局長より通常総会と重なるので再検討をお願いしたいとのコメントがあり、最終的に6/24(水)15:00~17:00開催となった。別件であるが、会員からの知財関連の問い合わせは通常第一報が事務局に入ってくるが、事務局では対応が難しいため、今後どのように対応していくかについての体制・考え方をデザイン保護委員会で考えていきたいとのこと。

加藤専務理事より、この種の問い合わせはあまり踏み込まない方が得策だと思うとの意見あり。

○広報

中森理事が急遽欠席となったため、代わりに加藤専務理事より、8~9月に発刊する広報誌(JPDAの新旧役員を1ページに一人紹介する)のレイアウトについて、スライドによる提案があった。

役員名はあまり大きくせずに「パッケージについての思い」等、内容部分を多くするようにしてはどうかと考えているとのこと。

伊藤理事長はその案を支持し、顔写真は別ページで全員分を掲載してはどうかとのアドバイスがあった。

第9号議案 「デザインを強くする」委員会活動(振り返りと2020の活動)

井上副理事長より、資料に基づき、2021年~の新体制を意識しながら今年度の委員会活動をどのように進めていくかについての報告があった。

- ・これまでの提案内容を資料に沿って確認。
- ・これまでは、5月末の総会の日に表示し、7月・9月の理事会で新しい3つの委員会に分かれてコロナ禍による2020年度の事業の見直し、2021年度の活動方針、体制と事業計

画について議論していくように考えていたが、今日の議論にもあったように、各委員会の事業が当面はオンラインが主体になっていくように、環境が大きくかわってきていることを踏まえて、できることから、新しい委員会（とくに「まなび交流委員会」）の理事の間で、今年度に行えることや今後の事業についての議論を、オンラインで早めに進めていきたいと考えている。

<出席者からの意見（敬称略）>

（伊藤）まずはこの枠組みで進めて、様々な意見を集約し、より良い活動につなげていきたい。

（小川（裕））次回の創作展では出版物も考えているので、出版委員会のご意見・ご協力が期待できるのは大変ありがたい。

（加藤）いままでの委員会という呼称と、新しくくくりの呼称が同じ委員会というのはしっくりこない。

（伊藤）同感である。いままでの委員会という呼称は残し新しくくくりの名前を考えた方がよいと思う。よろしければ、私と井上さんが招集するような形で進めていくようにしたい。

第10号議案 次回臨時理事会開催の件（第5号議案で承認された通常総会終了後の開催）

日時：令和2年6月30日（火）午後4時30分～6時

場所：東京ガーデンパレス 2階 「高千穂（B）」

東京都文京区湯島1-7-5 TEL：03-3813-6211

※遠距離（関西方面等）から来られる理事の方で、総会も含めて欠席されるかたは、オンラインでも参加できるように配慮する。

●第10号議案終了後、渡邊事務局長より、「昨年まで、JPDAのアスパック委員会では日本の大学や専門学校とコンタクトをとり、学生を対象としたワークショップ等を行ってきた。2020年度はアスパックの全事業が中止となったが、日本の学生に対してJPDAとしてZoomを利用したワークショップなど、できることはないか」という問題提起があった。

出席役員からいろいろな意見が出たが、とりあえず、畝野理事が今学生を教えている理事の方々とのディスカッションの場を招集することとなった。

この件に関しては、その結果を踏まえて、新しい「まなび交流委員会（コミッティ）」で議論していくことを共有した。（伊藤理事長・井上副理事長）

以上